



平成 29 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 ホットランド  
住 所 東京都中央区新富一丁目9番6号  
代 表 者 名 代表取締役社長 佐瀬守男  
(コード番号：3196 東証第一部)  
問 合 せ 先 取締役経営管理本部長 高橋謙輔  
TEL. 03-3553-8118

## 減損損失の計上及び平成 28 年 12 月期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 12 月期において、減損損失を計上いたしましたので下記のとおりにお知らせいたします。また、平成 28 年 8 月 12 日に公表致しました平成 28 年 12 月期連結業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりにお知らせいたします。

### 記

#### 1. 減損損失の計上について

##### (1) 「The Coffee Bean & Tea Leaf」事業における固定資産の減損

当社の連結子会社である L.A. Style(株)で、平成 27 年より開始した「The Coffee Bean & Tea Leaf」事業において、将来キャッシュフローを予測し固定資産の回収可能性について検討いたしました。現状の収益水準ではその回収可能性が見込めないと判断し、減損損失 699 百万円を計上いたしました。

##### (2) 「COLD STONE CREAMERY」事業における店舗運営に関するのれんを含む固定資産の減損

当社は、平成 26 年に日本国内においての「COLD STONE CREAMERY」ブランドのアイスクリームの販売権利を有するコールド・ストーン・クリーム・ジャパン(株)の全株式を取得し、その際に店舗運営事業とブランドを利用した市販品の製造販売事業についてのれんを計上しております。

しかしながら、店舗運営事業にかかわる収益が、株式取得時に策定した計画を下回って推移していることから、店舗運営事業にかかわるのれん及び不採算店舗の固定資産の減損損失 275 百万円を計上いたしました。

なお、今後の当ブランドの取組みといたしましては、好調かつ収益性の高い市販品の製造販売事業に注力してまいります。

##### (3) その他不採算店舗に関する固定資産の減損

上記(1)及び(2)以外に営業キャッシュ・フローのマイナスが継続している店舗等に関して、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失 122 百万円を計上いたしました。

2. 平成 28 年 12 月期 通期連結業績予想と実績との差異（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想値（A）	32,000	1,050	950	300	16.36
実績値（B）	31,533	1,077	964	▲661	▲36.02
増減額（B-A）	▲466	27	14	▲961	
増減率（%）	▲1.5	2.6	1.5	—	
（ご参考）前期実績 （平成 27 年 12 月期）	30,941	1,523	1,500	770	※ 42.31

※当社は、平成 27 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益を算定しております。

3. 差異が生じた理由

営業利益及び経常利益におきましては概ね計画通りであったものの、上記「1. 減損損失の計上について」に記載の減損損失の計上などにより、親会社に帰属する当期純利益につきましては▲661 百万円となり、計画を下回ることとなりました。

（参考）

上記「1. 減損損失の計上について」に記載の要因に準じて、当社の個別財務諸表においても子会社株式の評価損及び、子会社の金融機関からの借入金に対する債務保証損失の合計 1,366 百万円を特別損失に計上しております。

以上